

休日 日曜日 祭日
一ヶ月 廿五銭
郵送料 一行四〇銭
原稿料 一行四〇銭
場所指定 廿四銭
発行兼編輯印刷人
牛谷政喜
發行所
福島縣平野町大町五
新いわき新聞社

苦しい経営の中に 磐城炭礦の對處策

一月以來五百餘名を解雇 各線業の機械化から

石城地方各炭礦の窮乏對處炭礦地元を動かす行商の策は結局人員淘汰の外に他に職をかへてゐる爾後に於て本年一月以來徐々に於ける同礦出炭は五月に六此の方針を進むる一方線業萬一千四百噸六月は六萬噸の機械化を圖つてゐた磐城の豫定を以て
炭礦は前記一月二十日現在
從業員三千八百八十人を去
る五月十日までに
第三斜坑採炭夫一二七、
後山四七、町田坑採炭夫
一七二、後山九三、高坂
坑採炭夫二三二、後山一
一八、綴坑採炭夫一五四
後山七〇、
搬夫四二、機械夫一〇、
工作夫一五、撰炭夫五三
を從事させてゐる同炭礦の
雜夫六〇、
合計五百九十九人の解雇を行
順で其他を地方賣とし需要
ひ約三萬圓の手當支出で三
千三百六十一名に減じた而
して右解雇されたもの中體六
圓にこぎつけ得る現況
鮮人六十二名の全世帯は満
洲に職を求め残る大部分は
も云はれてゐる。

四倉爾市場初取引

御祝儀相場二圓六十三銭

四倉爾市場は昨十三日から十二銭、掛目廿二で取引さ
春爾取引を開始したが出荷れたが支人筋の観測する先
は大野村の白爾百六十九貫行豫想は今春爾は最初廿圓
で最高二圓六十三銭、最低壹圓を唱へられたが其後政府
二圓十六銭、買馴れ二圓四の滞貨買上げの好影響で廿
狂奔してゐる。

肥料資金融通

希望者は役場へ
本縣に六十七萬圓融通され
た本年度肥料購入資金貸付

上簇間際になり 俄かに違蠶續出

入遠野村の蠶家大狼狽

片倉磐城製糸會社特設組合
加入の入遠野村部落六十名
の養蠶家は今春蠶は爾價安
と桑葉減から掃立一割五分
減の方針であつたところ片
倉製糸側では蠶期中充分の
給桑をなすからと言明して
例年以上の蠶種配給をなし
たため蠶家もその積りで掃
立てをなし蠶兒も順調に成
育して例年以上の收蠶増を
豫想されるに至り大いに喜
んでゐた所、こゝ兩三日中
今や上簇間際に至つて果然
桑葉不足に陥りその結果違
蠶續出する有様となつたの
は蠶家は大狼狽し桑葉購入に
狂奔してゐる。

公益事業に 寄附し

知事から褒状
平町諸橋久太郎、山崎清三
百澤易典、酒井秀次郎、堀
江正直、好間村廣川信榮の
六氏及び在郷軍人平分會は
公益事業に私財を寄附した
る廉により此程知事から褒
状を贈られた。

哀れな一家 救護を願出る

平町柳町一居住美城縣東美
城郡飯富村大字飯富二二〇
土工長谷川長八郎(三九)は
妻は(三三)との間に十一
を頭に三人の子を抱へて細
々と暮しを立てゝゐたが本
年三月妻はなほ長女分娩後
産後の日経ち悪く心臓病に
呻吟する有様となり長八郎
は看病のため仕事にも出ら
れずそのため一家五名は辛
がゆを喫つて飢餓線上にあ
へざるこの儘では餓死する外
はないと十四日平町役場
へ出頭救護方を願ひ出た。

今夏期中は依然 水飢饉を免れず

湯本町上水道竣工遅れ 町民いたく失望

湯本町上水道工事はその後中には通水出来ぬこととな
工程順調に進み今月二十日八月一杯はどうか今迄
頃までには幹線鐵管の埋没の水飢饉から救はれぬら
を終り通水の運びに至る豫いので町民は失望してゐる
定であるが各需要家への支向町當局では十四日午後一
線鐵管埋没は九月中旬頃までから委員會を開き料金算
でかゝる見込みなので今夏定その他につき協議した。

切出しを揮つて 右脇腹を突刺す

今曉内郷村金坂の慘劇

十四日午前三時半頃小名直直ちに綴驛前駐在所へ自首
町宇古港居住信夫郡野田村したので平署から佐久間司
大字笹木野字天戸畑生れ魚法主任、平檢事局より市川
行商賭博出科二犯日山嘉信山田兩檢事、藤原豫審判事
(三三)は内郷村大字宮字金等現場へ急行臨檢し死體は
坂警炭坑夫人見三吉方で飲藤沼醫師の手により解剖に
酒中居合せた同村大字高坂附すと共に日山は平署に
字御殿山一警炭坑夫武田康置し直ちに豫審に付した
慶(三四)と口論の未激昂し
た日山は矢庭に及渡り四寸
の切出しを揮つて武田の右
脇腹を突き刺し即死せしめ被害者武田康置は山形縣南
月給の場合はどうとか大部ありまうかやうな有りふれ
分りやカフエーへ散された事柄はさうり捨て、自
らのだらうとか國の兩親へ分が月給を貰つた場合他人
贈るとかこれ又いゝあが貰ふ場合又貰ふ人の場合
でせう、がこれ等の事柄くられる人の場合等々各方面
は今迄多數の川柳家に依つて表から表から觀察して成る
て大概云ひ古るされた事で、自己の眞實を感念を叫
び出して欲しいのでありま
す少しく手前味噌のやうで
作つて見た事があります細

兇行の原因

被害者武田は
實直な獨身者
湯屋業組合では十四日
平町湯屋業組合では十四日
午後一時から平署會議室で
月例協議會は
十五日午後六時から町會議
事堂で開催。



或問答

(廿六) 十寸 雙
最う少し進んだところで
は月給を待つてゐる女房と
か月給日だから晩酌の徳利
が一本ふえたとか又獨者の
共鳴を得る事が少ないので

奉天大會 (二)

藤田中尉通信
第二師團關係員四十三名
仙臺、福島、新發田、高田
は會長鈴木大將を中心に
赤井中將多門第二師團長閣
下を中心に記念の撮影を致
し候
北大營兵工廠航
空廠一等戰跡視察翌くれ
ば六時朝來近郊の戰跡視察
に參行仕り候七百足らずの
將兵を以つて克く八千の大
敷を一夜にして攻略したあ
の神速果敢なる戰果の跡、
百八十萬坪の廣大なるこの
屯營の物凄さいづれも豫想
外に御座候當日の説明者は
當の本人獨立守備第二大隊
長島本中佐陸軍大學出の逸
才元氣とその雄辯とは現地
にあつての體験談と相俟つ
て熱あり血と涙の講演説明
にて一同手に汗し質感に打
たれざるものとは御座な
く候きその殘骸の跡を詳か
く觀察し彼のために悲し
吾のたに喜び申し候
參考迄に御披露しませう。
月給の外もあるべきくら
くなり

三井店員捷つ

平町結髮業組合創立總會は
十五日午後三時から平署會
議室で開催定款設定役員選
擧を行ふ。

湯屋業組合總會

湯屋業組合では十四日
午後一時から平署會議室で
月例協議會は
十五日午後六時から町會議
事堂で開催。

從賜郡山上村大字關根字蛇
の口生れて昨年七月茨城縣
多賀郡大日本炭礦から磐城
に入り素行もよく實直な獨
身者であつた、慘事の直接
原因は最近金坂に柔道稽古
場が出来加害者も被害者も
同場へ通つてゐたもので同
日はその腕自慢の事から短
氣な日山がカットなつて右
の兇行に及んだものである
結髮業組合總會
平町結髮業組合創立總會は
十五日午後三時から平署會
議室で開催定款設定役員選
擧を行ふ。

農業方面

稲の病害虫

豫防と管理(三)

縣農試 伊藤技師
石城分場

それに稲熱病の繁殖の最
適温度は攝氏の二十二度か
ら二十七度であつて僅かに
残留した胞子も著しく繁殖
するので動もすると七月頃
に本田に發生することがあ
る、此の場合も矢張り前に
云ふた四斗式等量石灰ボル
ドー液に黒砂糖を加へたも
のを撒布して豫防するので
あるが激しくおかされた稲
は回復の見込がないから刈
取り焼却して病菌の蔓延防
止をした方がよい。次に九
月の下旬頃になつて穂の出
始める頃になつて穂首に發
生の場合はポルドー液は六
斗式とし更に石灰は倍量の
二百四十匁とするのである
撒布の時期は稲の出穂直前
がよいのであるが稲の草出
來が過ぎて居り品種が稻熱
病に弱い「象の尾」とか陸羽
一一九號の如き種類の場合
は穂揃へ後更に一回撒布す
ることが必要である。然し
發生の虞のない場合は一
回撒布に止めた方がよい、
元來稻はポルドー液に弱い
作物だから薬剤撒布は成る
べく避けて栽培法により發
病を抑制する様にすること
が必要である。私の數年前

の試験によると大變面白い
成績があるから左に之れを
掲げて參考にする。
四斗式二回撒布、罹病歩
合二七パーセント、収
量四石六七四、同重量一
二一、二〇〇

恐怖時代の 動脈硬化症 新藥

豫防及治療

アイヨール錠

定價 試用 二圓
中 六圓
大 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局

平五丁目町

看護婦の
急派の求め
に應じます
平看護婦會
電話三〇七番

代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績の
よい安心の出来る健實なる有鄰生命
保險株式會社の代理店を引受けまし
た何卒御利用の程を御願致します

有隣生命保險株式會社
平城北代理店 主幹 佐々木龍若
附屬社員 志賀 寛

價之低く 質之高く

和洋金銀 金銀器 山崎合名會社

良品廉賣は 高商屋

平五丁目町 電話三〇七番

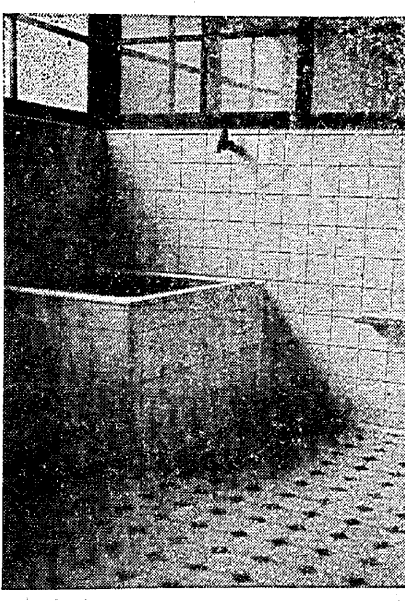
お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社

明治生命 代理店
山崎與三郎

◇化粧タイル販賣並に設計請負
◇タイルの御相談は當店へ
◇親切第一をモットーとします



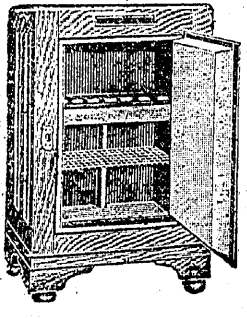
平五丁目町 尾紺町 大谷建材商店 電話三二六六番

初夏サロンの新装

店内清楚にして氣持よく
アイスクリーム (十五錢)
タンク入りソーダ水 (十五錢)
どうぞ御用命を……

田町サロンの
電話三五二番

本式の 冷蔵庫



製造元 丸ほん

外科 (内臓外科) 醫學士 松永憲一
外科 (整形外科) 醫學士 長木村寅次郎
産科、婦人科 院長 長木村寅次郎
平町新川町一九 (電話二六四番) 木村病院

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平町南町番 (電話二五八)

内科、小兒科 平町田町、電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科 高久病院
レントゲン科 院長 醫學士 高久忠

諸毒下シの大妙藥
安流丸
平町五丁目角
特約 山野邊藥局

洋酒罐詰 卸
食料品類 小賣

上總屋商店
大沼忠衛
平町新川町二九

私事
平町字研町白萩酒店に在店中は皆様に特別の
御引立を蒙り深く御禮申上げます御陰様によ
り今回同店の御厚志を以て右の通り獨立開店
する事になりました就て白萩酒店在店中と
じく御引立下さる様御願申上げます